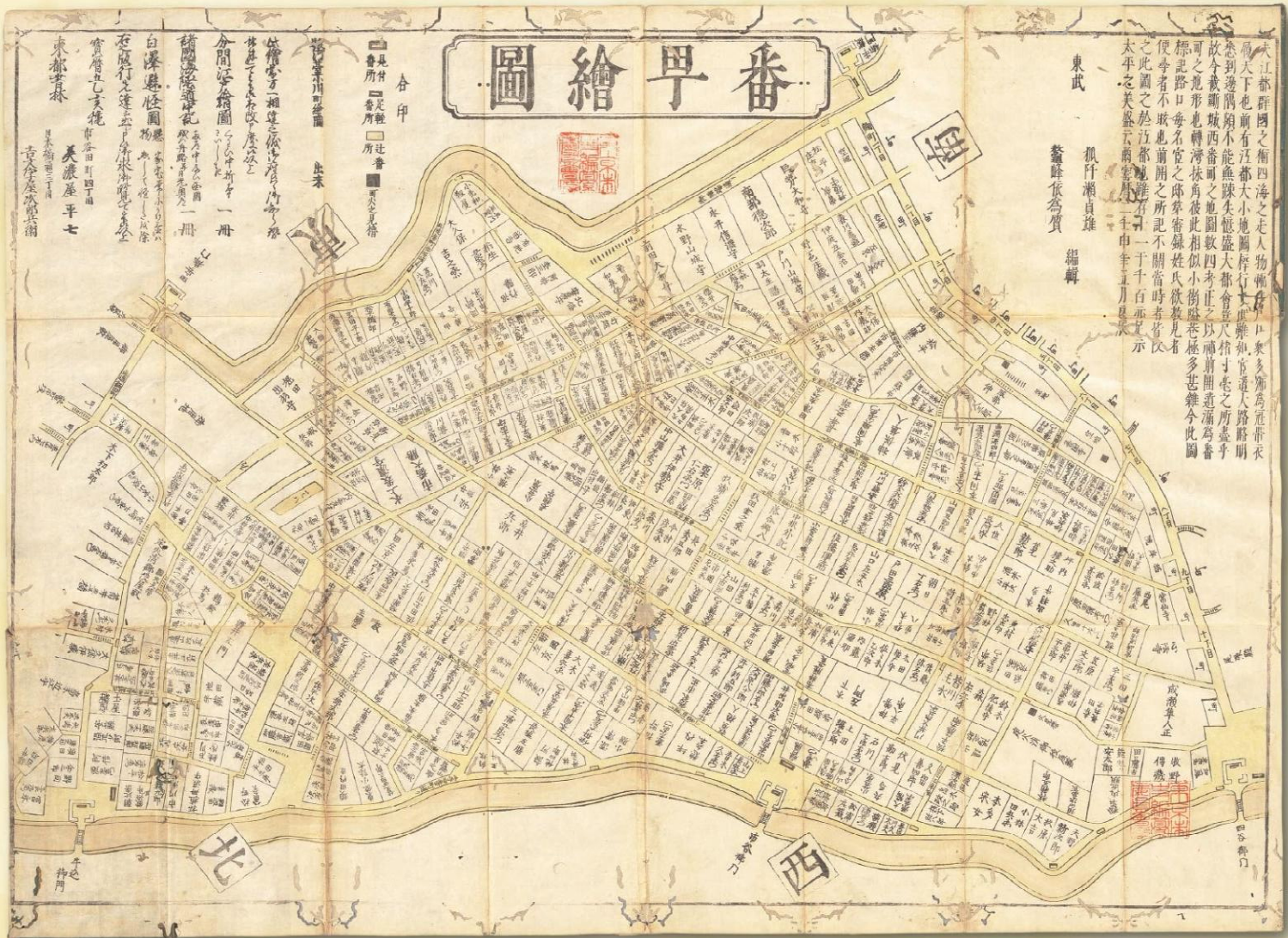


東都番町図



(請求番号：654-02-01-04) 東京都公文書館所蔵

吉文字屋板切絵図の始まりは、「番町」地域からでした。旗本屋敷が建ち並ぶ番町は、江戸屈指の道に迷いやすい街区でした。

「番町をさかなのさがる程尋ね」

天明4年（1784）の川柳です。番町のお屋敷で注文を受けた魚屋が、道がわからず道を尋ね尋ね行き、魚が「下がる」、つまり腐りそうになったとの意味です。

江戸切絵図は、こうした「難所」に絵図を携帯し、実地で道を確認しながら方向を確かめるといった需要に応じて生まれたのです。